

研究主題について

1 研究主題

GIGA スクール環境で実現する学習者主体の学び

2 主題設定の理由

現代のネットワーク社会にあって、ビッグデータの活用や AI といった技術革新により、産業のあらゆる分野で急激に変化し続けている。学習指導要領では、このような予測困難な時代に児童一人一人が未来の創り手となるよう、「何を学ぶか」（知識・技能）も重視しつつ、それが生きて働く知識となるために「何ができるようになるか」（資質・能力）を重視し、資質・能力の「三つの柱」を偏りなく実現することとしている。それを踏まえ、私たちは、児童の資質・能力の育成に向けて「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を常に行ってきた。

GIGA スクール構想で1人1台端末の環境が整備され、3年経った今、児童の学びに大きな変革が起きようとしている。児童自身が自分の学びを決定したり自分の学びを調整したりする「個別最適な学び」や、児童の学びが可視化されクラウドで共有されたり、児童同士や教師だけでなく多様な他者との協働により学びを深めたりする「協働的な学び」が、GIGA スクール環境だからこそ一体的に行われている先進的な取組が多く紹介されるようになってきたのである。それは、これまで教師が「個に応じた指導」を工夫し、一つの答えに向かって学ばせる単線型の授業とは異なるものであり、学習者が主体となって学び、教師はそのサポートをするもので、複線型の授業と呼ばれるものである。

本部会は、日々子供たちとともに授業改善に取り組む教師集団である。GIGA スクール環境についての専門性も高く、学校全体をリードする立場である場合も多いのではないかと予想できる。そこで、会員がそれぞれ現場で試行錯誤している、GIGA スクール環境でこそ実現される学習者主体の学びの実践を通して、その成果や課題を共有し、次の授業改善につなげるとともに、それぞれの学校で広げることができるような研究をしたいと考えた。

また、令和9年度に仙台市が主管となる東北大会が予定されており、それに向けて実践を蓄積し研究を深めていくためにも、「学習者主体の学び」というテーマがふさわしいと考えたため、令和6年度の研究主題を「GIGA スクール環境で実現する学習者主体の学び」とすることにした。

「教える」ことは、私たち教師にとってライフワークともいえる重要な仕事であった。しかし、「学習者主体の学び」は、これまで前提としてきた「教える」という概念を根本から変える必要がある。本部会での実践や研究によって、会員の学びがより深まるだけでなく、仙台市の教師の、授業に対する意識改革につながっていくことを期待している。